

カチオン系架橋型マイクロアクリルエマルジョン下塗り材

水系Wシーラー

MIZUKEI W SEALER



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)

(社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	M03101
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.tonyo.or.jp

優れた付着性 新築仕様に対応 優れた耐水性 優れた透湿性

用途

- 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装の下塗り材
新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装の下塗り材

特長

- モルタル・コンクリート面との付着性に優れるので、新規塗装に対応します。
- 旧塗膜との付着性に優れるので、塗り替えにも対応します。
- 優れた耐水性により、基材をタイトに保護します。
- 優れた透湿性により、寒冷地でも施工に適しています。
- 水系塗料なので溶剤臭がありません。
- 既調合なので希釈の必要がありません。
- 上塗りの隠ぺいを補助する「白色」もラインナップ。

適合上塗り材

ナノウォール20・15・10、ナノシリコンW、ユーロテックス、シエル、アルバイオ

※ナノコンポジットシリーズには使用できません。

塗装仕様

■ テクスチャーをつける場合 (JIS A 6909 可とう形改修塗材E)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分率5%以下 (デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合 (無希釈)	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
下地調整剤	リフレッシュファイラー 16kg	1~3% (希釈水)	マステックローラー	1	0.8~1.5	11~20	—	16h以上	—
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12~0.16	47~62	2h以上	—	24h以上

※エフロレッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」を塗装してください。
※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件、下地のテクスチャーパターンにより増減します。
※下地が濃色で上塗りに淡彩色を塗装する場合など、隠ぺい不足が気になる場合は「水系Wシーラー白」をご使用ください。

■ テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分率5%以下 (デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合 (無希釈)	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12~0.16	47~62	2h以上	—	24h以上

※エフロレッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」または「リフレッシュサフェーサーエボ」を塗装してください。
※上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー白」をご使用ください。
※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件、下地のテクスチャーパターンにより増減します。
※上塗りがシエルの場合は、中塗りにシエルローラーやシエルタイル玉吹き用を使用することで、高弾性仕上げが可能です。
※旧塗膜の劣化が少ない場合は、水系Wシーラーを省くことができます。

荷姿

水系Wシーラー (クリヤー/白) 15kg

注意事項

【仕様全般】

- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあると艶引けを起こすおそれがあります。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
- パテを使用する際は外部用パテをご使用ください。
- 旧塗膜が弾性塗材の場合は施工を避けてください。スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りに行ってください。
- 水洗後、1日以上乾燥時間をとってください。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- 目地部が深い場合、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合は、目荒らしを行って再度塗装してください。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。
- 乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- カチオン系下塗り材は、他の水系塗料と混合するとゲル化することがあります。混合したり、ハケ・ローラー・エアレスなどの共有は避けてください。

19. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
20. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート (SDS) をご覧ください。

【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 排水溝には捨てないでください。
3. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
4. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
5. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
6. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ記載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
OND2306